

平成 26 年度事業報告（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日）

(1) 健康の推進に関する国内外諸団体との交流及び連携に係る事業

① 健康都市連合日本支部第 10 回総会・大会

平成 26 年 7 月 29 日～30 日、千葉県我孫子市及び柏市で開催された日本支部総会及び大会において、日本支部の本年度事業方針、運営に関する協議を交わし、加盟自治体との情報交換を行った。

② 第 6 回健康都市連合香港国際大会理事会・総会

平成 26 年 10 月 28 日～11 月 1 日、香港にて開催された第 6 回健康都市連合国際大会の理事会と総会に出席した。理事会では本年度事業方針、運営に関して協議し、国際交流・支援部会の幹事に推挙された。大会では「国際協力による地域活動と都市間交流の促進」のセッションを担当し、平成 24 年度並びに 26 年度国際支援事業の報告を行うとともに、今後の交流・支援のあり方について参加国メンバーと協議した。

③ 第 2 回健康都市めぐり in 帯広

平成 26 年 8 月 23 日、帯広市にて、おびひろ健康都市めぐり実行委員会、帯広市、NGO 健康都市活動支援機構の主催で、健康都市の考えを普及し他地域との交流・連携を行うイベントを開催した。

(2) 健康の推進に関する支援、協力及び企画に係る事業

① 平成 24 年、26 年度国際支援事業フォロー

平成 26 年度の国際支援事業の結果についてアンケート調査を行った。
また、第 6 回健康都市連合香港国際大会では「国際協力による地域活動と都市間交流の促進」のセッションを担当し、過去 2 回の経過報告と今後のあり方についてパネルディスカッションを行った。

今後の交流事業に向けては、まず独立行政法人国際交流基金アジアセンターが実施する「アジア・市民交流助成」に、「食・運動・心の健康」をテーマとする健康都市交流事業への助成申請を行った。

さらにモンゴルとの関係では、ダルハンウール県ナサンバット知事及びツSENDスレン県会議長からの要請を受け、平成 26 年 8 月 4 日～10 日に千葉理事長と稲垣参与がモンゴルを訪問。現地視察を行い、地域保健センター設立に向けた協力を開始した。資金調達については、独立行政法人国際協力機構（JICA）の平成 26 年度補正草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）への申請作業を開始した。

② 平成 26 年度国際支援事業

平成 26 年 4 月 7 日～4 月 11 日、健康都市連合加盟都市との交流・支援の目的で、モンゴル（ダルハンウール県）、マレーシア（北クチン市）、フィリピン（マリキナ市）より実務担当者 9 名を日本に招聘。市川市、大府市、大和市の取組みをはじめ民間企業での日本の健康都市活動の体験・研修を行った。

③ 平成 27 年度国際交流・支援事業助成金申請

アセアン諸国を対象に、独立行政法人国際交流基金アジアセンターが実施する「アジア・市民交流助成」に、「食・運動・心の健康」をテーマとする健康都市交流事業への助成申請を行った。

一方モンゴルに対しては、ダルハンウール県における地域保健センターの設立に向け、独立行政法人国際協力機構（JICA）の平成 26 年度補正草根技術協力事業（地域活性化特別枠）への申請作業を開始した。

④ 第 2 回機構主催セミナー（定例懇話会）

平成 27 年 2 月 9 日、東京にて当機構の理事、会員、自治体担当者の研修及び交流を目的に懇話会を開催した。

(3)健康の推進に関わる開発・企画調査ならびに人的貢献に係る事業

① 健康都市連合加盟促進

平成 26 年 10 月に小田原市長及び健康推進関係者を、平成 27 年 3 月に松山市長及び健康推進関係者に対して健康都市への加入促進を図った。

② 自治体評価ツール開発

未実施

③ 健康都市を推進する議員連盟との連携強化

未実施

(4) 健康の推進に関する印刷物・出版物等の編集、発行及び出版に係る事業

① ホームページ・公報活動

活動を機構ホームページで定期的に報告した。

② 機関誌『健康都市デザイン』の出版

平成 26 年 7 月及び同年 12 月、情報提供及び情報交流の機関誌『健康都市デザイン』の

出版をした。

② 健康都市ポータルサイトの監修

平成26年4月からWebサイトに掲載される健康都市ポータルサイトの企画を監修した。

(5)健康の推進に関する情報の収集、分析及び公開に係る事業

①企業 CSR 活動・研究分析

未実施